

もったいない！未来のために
母の視点で よりも で見直し
次世代に借金、リスクを残さない

県議会議員 西村久子 県政報告

第15号

発行 西村久子

彦根市甲崎町

TEL・FAX 43-4700

Eメール hisako@country-farm.net



今日よりも明日

あじさいの蕾が次第に膨らんで、雨の日が多くなりました。今年も半分を迎えようとしています。本当に早いですね。新型インフルエンザに恐々とした日々、一寸先は闇、これからも何が起こるかわかりません。でも、どんな災難が起つても知恵を出し助け合って前向きに、「今日よりも明日」・・・向上を目指したいですね。

待望の「湖東三山スマートインター」が実現に向けて大きく動き出しました。今年度より着手し、26年完了を目指します。JR稻枝駅南側の踏み切り除却事業も大きな機械が入り、無事進展しますようにと祈りつつ、期待が膨らみます。住み慣れた土地を地域発展に向け御協力いただいた地元の皆様に、心から感謝申し上げながら、生まれ変わる新しいまちに多くの人々が、想いを馳せています。

篠原駅も膳所駅も改築が決まっています。次は「JR 稲枝駅」、改築と駅周辺道路整備の具体的な進展を求め、さらに声を大きく、彦根市へ届けましょう。

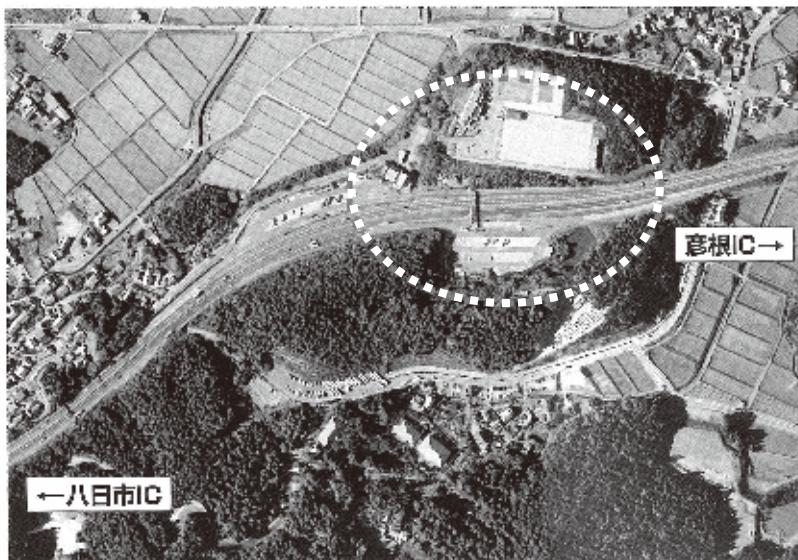


湖東三山スマートIC設置現場視察

日 時 6月13日（土）
午後3時～3時30分

金子一義国土交通大臣を迎えて現地視察を行います。その後ハーティセンターにおいて、道路整備についての要望活動を行います。どうぞ御参加ください。

湖東三山スマートインター設置現場 ▶



「景気対策に全力」 「湖東三山スマートインター実現へ」



衆議院議員
藤井 勇治

皆様にはご健勝のことと存じます、

去る5月29日、国会は「百年に一度の世界同時不況」に対し、過去最大の財政支出の補正予算が可決成立を致しました。実体経済の悪化に間断なく対応すると同時に、将来的な成長に繋げる今後三年間にわたる対策を盛り込み、事業費は54兆円に及びます。一例を挙げますと、今後三年間で公立小中学校1万2000校に太陽光発電パネルを設置したり、環境対応車への買い替えや省エネ家電の購入に対する「補助金」を出すなど「低炭素革命」を進めます。さらに、子育て応援手当での拡充、新待機児童ゼロ作戦、医師不足解消対策、雇用対策、地方活性化の新たな交付金など、引き続き政府・与党はあらゆる政策を総動員して国民生活をしっかりと守る為に全力を挙げて参ります。

また、待望の「湖東三山スマートインター」が、来る6月13日に国土交通大臣が現場視察に入る事が決定し、実現に向けて大きく動き出しました。湖東地域活性化のシンボルとして、早期の着工と完成を目指し働いて参ります。私は郷土と国政のパイプ役を担い、ふるさとの発展と新しい日本の国創りに働いて参ります。何卒皆様方のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

平成21年5月 臨時議会 湖政会

- 新型インフルエンザ対策費補正 105,170千円
…医療機関に対する補助、検査体制の整備、広報、タミフルの追加備蓄等
- 滋賀県職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例案他 5類似案件
…県人事委員会申し出に基づき、国家公務員に準じて、職員の6月期の期末・勤勉手当を0.2月分支給凍結とするもの（特別職、学校職員、教育長、議員も同様）



会派質問（抜粋）

湖政会を代表し議第138号平成21年度滋賀県一般会計補正予算（第3号）について質疑いたします。

ここ数年来新型インフルエンザ発症の危険性が指摘され、国の方針に基づき本県においてもその対策を積み上げてきました。今般新型インフルエンザ対策として財調繰入により1億517万円の補正が提案されました。県民全ての生命・安全確保にかかわる緊急事態であり、このことに関しては一定の理解をいたします。

メキシコに端を発した新型インフルエンザがアメリカに感染拡大した時点から、空港における水際検疫の張りつめた状況を見ながらも、「いつか日本にも…」そして神戸に感染者が報道されると、「もはや時間の問題…」と誰もが受け止めたことと思います。症状が比較的穏やかと聞くに、不幸中の幸いとある面ではほっとしながらも、日ごとに増えるマスク姿や、県内発症、そして対策…迅速な対応報道に新型インフルエンザに対する理解を深め、「さて、どうすれば感染防止できる…私は、うちの家族は…」とやはり不安極まりないものでした。

県においては、発熱相談センターをいち早く設置し、発熱外来での対応により一般患者と隔離し治療に専念する体制を実施いただいたことは、適切であったと広く評価されてあります。しかし、多くの同時発症があれば、対応しきれない実態も想定され、課題を残していることだと思います。

問 今回の県の対応での評価と今後の課題について伺います。

答 感染拡大の防止に最大の重点を置き自粛等の対策によって、初期の感染拡大は阻止でき、防疫面での対応は適切であった。一方経済活動、社会生活のバランスのとり方をはじめ、今後さらに検証が必要と考える。

問 その課題の中で早急に対応していかなければならないものとして、発熱外来の体制整備の充実は、患者にとっての生命線でもあり今回の補正の中でも大きなウエイトを占めています。発熱外来の県内均衡ある開設に向けて、予定も含め現状はいかがなっているのでしょうか。

答 現在21の病院に開設。保健医療圏域ごとに必ず1箇所は配置していますが、ばらつきがあり、今後圏域の均衡を考慮しながら増設していく。

平成18・19年度において既に抗インフルエンザウイルス薬であるタミフルが備蓄され、21年度から2カ年余でタミフルの備蓄倍増に向けて予算措置を講じております。さらに今回備蓄目標を国民の45%に相当する量を充足するため、平成21年度の追加措置として10,700人分のタミフル購入経費が補正提案されました。

問 滋賀県内において備蓄されているタミフルの保管状況をお聞きします。

答 平成20年度末で県が備蓄しているタミフルは、112,000人分です。

問 タミフルそのものの有効期限というものはあるのでしょうか。効力についてお聞きします。

答 タミフルの有効期限は、製造後7年、その期限内において効能・効果は変わらない。

西村久子事務所

彦根市甲崎町19-1 (稲枝北駐在所より西へ約100m 南側道路沿い)
定例政調会 第1金曜日 午後7時～10時

ご意見をお聞かせください。 Tel 0749-43-2020 Fax 0749-43-4700

湖政会・西村久子ホームページ(ブログ)

湖政会
<http://koseikai-shiga.net/>

湖政会・西村久子活動日記
<http://nishimura-blog.koseikai-shiga.net/>

